

ユキミバナ

Strobilanthes wakasana Wakasugi et Naruh.
キツネノマゴ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも極めて少ない。

分 布

本州（福井県、滋賀県）に分布。県内では嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

低地～低い山地の森林の林縁や疎林下に生える常緑多年草。群生することが多い。茎は匍匐し、花茎は10～30cm。葉は対生し、菱形状楕円形。9～12月頃、花茎の上部の葉腋に、唇形で淡青紫色の花を付ける。花は、朝咲いて夕方にはしおれる一日花。

生育を脅かす要因

森林伐採等による生育環境の消失や悪化のほか、産地が限られていることによる。

参考文献 福井県植物研究会（1998）、畔上能力（1996）、
若杉孝生・鳴橋直弘（1993）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○				○												

クロガネモチ

Ilex rotunda Thunb.
モチノキ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

庭木としてしばしば植栽される。本県を分布の西限とし、確認されている生育地は1地区のみと極めて少ないので絶滅危惧Ⅱ類とした。

分 布

本州（関東、福井県以西）～九州に分布する。県内ではおおい町で確認されている。

種の特徴

常緑広葉樹林内に生える高木。若枝は黒紫色で無毛。葉柄は黒紫色で長さ1.5～2cm。葉身は革質、楕円形で両端が尖り、長さ6～10cm、幅2.5～4cm、鋸歯はなく、両面無毛。花は6月。雌雄異株。種子は平たい3角状長楕円形で長さ約5mm。

生育を脅かす要因

森林伐採、園芸採取。

参考文献 福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○															

ヒメシャジン

Adenophora nikoensis Franch. et Sav.
キキョウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

産地局限。

分 布

本州（中部地方以北）に分布。県内では福井市、大野市での記録がある。

種の特徴

亜高山帯～高山帯の半日陰の岩場やれき地に生育する多年生草本。茎は直立し、高さ20～40cm。葉は披針形または狭長楕円形で鋸歯がある。花は8～9月、茎頂に数個が総状花序につく。花冠は鐘形、紫色で長さ1.5～2.5cm。

生育を脅かす要因

園芸採取、生育地へのシカの分布拡大による食害。

参考文献 福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	○